

衆議院議員(無所属)

神奈川県8区選出/青葉区・緑区・都筑区 佐田東町・佐田南町  
佐田東・佐田南・大久

# 江田けんじ



しがらみのない政治家にしか  
本当の改革はできない!

- ◆ 1956(昭和31)年4月28日生 岡山県出身
- ◆ 東大法卒。旧通産省、ハーバード大特別研究員、首相秘書官  
退官後、桐蔭横浜大客員教授を経て、衆議院議員6期
- ◆ 家族 妻 二人の子供(高校生と中学生) 子育て真っ最中!
- ◆ 著書「首相官邸」「財務省のマインドコントロール」  
「愚直の信念」「誰のせいで改革を失うのか」他
- ◆ 趣味 温泉/旅行/食べ歩き/スポーツ観戦
- ◆ テレビ・マスコミ出演多数  
「日曜討論」「スッキリ!」「サンデージャパン」「TVタックル」他

政治家として

## 若者が夢を実現でき

## お年寄りが長生きしてよかった

## 国をつくりたい!

今日本の閉塞(へいそく)感は、規制や補助金などで「お上(かみ)」が「民間」をしぼり、「中央集権」で「地方(地域)」をしぼっているからです。そうした手かせ足かせを取り払い、民間の活力を十二分に発揮させ、地域のことは地域で決める! そうすれば必ず、日本は再生します。そう、「民間」と「地域」が主役の国造りです。

普通の人から豊かになろう!

## 「人財立国」で未来を切り拓く!

介護や子育て・教育支援など「人と暮らしへの投資」を通じた「公正な分配」の実現により、中間層や貧困層の生活を底上げします。既得権やゆ着的構造と戦い、生活者・納税者・消費者・働く者の立場に立ちます。

## 原発ゼロで「自然エネルギー立国」を!

## 専守防衛に徹し「平和国家日本」を守る!

**政治姿勢1** 政治腐敗の元、企業・団体献金は1円も受け取らない!

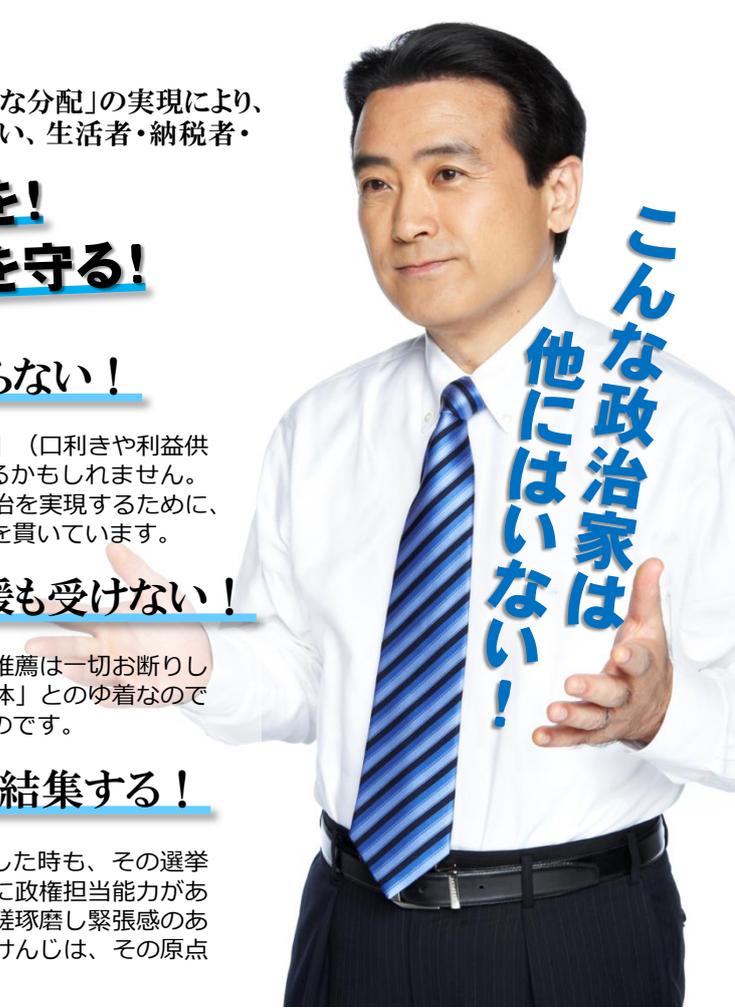
特定の企業や団体からお金をもらって当選すれば、政治家として「恩返し」(口利きや利益供与)するのは「人情」です。江田けんじもいつ何時、この「深み」にはまるかもしれません。そうならないために、そして「世間の常識を国会に!」、普通の人たちの政治を実現するために、江田けんじは初当選以来、企業・団体献金を一円も受けとらないという方針を貫いています。

**政治姿勢2** 改革を阻む、利権・圧力団体からの組織的支援も受けない!

普通の政治家なら誰でも受けている、利権・圧力団体からの組織的支援、推薦は一切お断りしています。すべての改革をはばむのは、「政治家」と「特定の利権・圧力団体」とのゆ着なのです。この「ゆ着打破」こそが、私が政治家として最も重視する目標の一つなのです。

**政治姿勢3** 自民党に対抗しうる 政権交代可能な一大勢力を結集する!

江田けんじの政治家としての原点は「政界再編」です。2002年に初当選した時も、その選挙ポスターやビラに「あえて無所属、政界再編」と書きました。国民の皆さんに政権担当能力があると認めていただける、自民党のライバル政党をつくり、互いに競争して切磋琢磨し緊張感のある政治にしないと、決して国民を向いた政治は実現しません。今後とも江田けんじは、その原点である「政界再編」に更なる覚悟をもって取り組んでまいります。



# 波乱万丈！放浪、落選、山あり谷ありの政治家人生！ 政治・行政経験40年！それに裏打ちされた政策実現・政局対応

## 略歴1 通商産業省(現経済産業省)～総理秘書官

### 通商産業省(現経済産業省) 入省 (1979年)

当時は「政治は三流だが官僚が一流だから日本はもっている」(桜田武日経連会長)と言われた時代。国民のためなら官僚ということで入省。ただし、20代の頃は月200時間の残業で残業手当はたったの2万円。サービス残業の極致。海部・宮澤内閣(官邸)にも出向(総理演説・国会担当)し、湾岸戦争への対応、PKO(国連平和維持活動)協力法等に従事。

### 米ハーバード大学国際問題研究所に留学(特別研究員/1987年～88年)

あの「ジャパン・アズ・ナンバーワン」のエズラ・ヴォーゲル教授に師事。良くも悪くも、米国の懐の深さ、草の根民主主義を学ぶ。全米をバックパッカーついで旅行も。目からうろこが百枚落ちる。その時のルームメイトがオバマ政権の大統領補佐官、USTR(米国通商代表部)代表に。

### 橋本内閣発足に伴い総理大臣秘書官(政治・行革担当)に就任(1996年)

「橋本六大改革」など中央省庁の再編(政治主導の強化等)や財政構造改革を推進。沖縄・普天間基地の返還やロシアとの北方領土交渉等にも従事。特に、大蔵改革や郵政民営化等をめぐって族議員や官僚と激しく渡り合う。この時の経験が政治家としての原点となる。

総理秘書官時代



エズラ・ボーゲル教授と



南の島で人生をリセット



桐蔭横浜大で教鞭

## 略歴2 「天下の素浪人」? 南の島に渡り、放浪生活

橋本内閣総辞職に伴い通産省には戻らず、首相官邸にて退職(1998年)。改革に反対する先輩官僚や政治家の醜い姿を見て失望。42歳。ちょうど折返し地点で「人生をリセット」。

500\$ で買ったオンボロ車とパソコン一台で6か所を転々とする放浪の旅。起きたい時に起き寝たい時に寝る「晴泳雨読」「何もしない贅沢」を満喫。ただ唯一、自らに「橋本政権の総括」を課し執筆活動。「誰のせいで改革を失うのか」(新潮社)を出版。以後、著書多数。

## 略歴3 たった一人の純粋無所属から「政界再編」へ

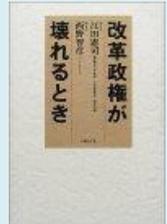
初出馬の落選を通じ、自民党の「しがらみ選挙」を嫌というほど味わう。この時の経験が今の江田けんじの政治姿勢(一面参照)の原点。2002年、無所属で自民、民主の候補を破り初当選。この時から一貫して、理念や基本政策を軸とした「政界再編」を訴え続け、それを実践。政党を渡り歩いているのではなく、「みんなの党」(2009年/幹事長に就任)→「結いの党」(2013年/代表に就任)→「維新の党」(2014年/共同代表に就任)→「民進党」(2016年/代表代行に就任)と次々に自らが政党を結成。2017年秋の総選挙では、野党が分断される中、原点に立ち返り「無所属」で出馬。119,280票を頂き、小選挙区で六度目の当選。



予算委員会で総理と質疑



『誰のせいで改革を失うのか』  
官邸発 国家改造  
総理秘書官の国造り論  
新潮社/一九九九年



『改革政権が壊れるとき』  
橋本政権の「六大改革」  
小泉改革の礎となった  
日経B.P社/二〇〇二年



『愚直の信念』  
官僚国家への最後通牒  
江田けんじを知る決定版  
PHP研究所/二〇〇九年



『財務省のマインドコントロール』  
増税をたくらむ財務省の  
恐ろしい手口  
官僚の大嘘に騙されるな!  
幻冬舎/二〇一二年



『政界再編』  
来るべき再編に向けて動き  
出した著者がその不退転の  
決意について緊急刊行  
角川書店/二〇一四年

【グルマン江田の食べ歩き】  
青葉区・緑区・都筑区のお店を紹介しています！  
ぜひInstagramをチェックしてくださいね！  
【えだ豆クリーン隊】  
江田けんじスタッフ+ボランティアの皆さんによる  
駅のクリーン活動。ぜひお気軽にご参加ください！

憲政研究会【事務連絡】  
(衆議院議員 江田けんじ事務所)  
〒227-0062 横浜市青葉区青葉台2-9-30  
TEL: 045-989-3911 FAX: 045-989-3912  
HP: http://www.eda-k.net / Mail: edamame@eda-k.net  
【facebook公式ID】 https://www.facebook.com/edakenji